

# 平成23年度 築上町の決算

## 平成23年度の決算（一般会計・特別会計）の概要

平成23年度一般会計の決算は、歳入総額116億1,283万円、歳出総額100億8,400万円、差引15億2,883万円で、翌年度繰越財源を引いた実質収支額は14億5,158万円でした。

特別会計の決算は、下表のとおりです。

合併後、7回目の決算です。財政事情は改善していますが、予算執行に際しては経費節減努力及び事業の見直しなどで歳出総額を抑制しました。この結果、一般会計の実質単年度収支額は、3億7,854万円の黒字となりました。

また、普通会計（注意1）でも実質単年度収支は4億1,016万円の黒字でした。経常収支比率は昨年度と比較し2.5ポイント増の90.6%となっており、依然高い比率となっています。

町では合併直後から平成23年度までに「集中改革プラン」及び「財政健全化計画」に基づき、各種事業の見直しにより廃止・縮小するなど行財政改革を実施してきましたが、今後も引き続き改革を実施していかなければなりません。

町民の皆様には、町財政の健全化のためさらなるご理解、ご協力をお願いします。

※決算の詳細については、財政課備え付けの決算書をご覧ください。

### 注意1 普通会計とは…

普通会計とは、地方自治体の財政状況の把握や比較・分析などに用いられる統計上の会計です。

地方自治体の会計は、「一般会計」と「特別会計」によって構成されていますが、自治体ごとで各会計の範囲が異なります。そこで、一定の基準で区分しなおした会計を用いて財政統計を作成しますが、このための会計を「普通会計」といいます。

築上町では、次の会計が普通会計として区分されています。

一般会計及び4特別会計（住宅新築資金等貸付事業特別会計、奨学金貸付事業特別会計、椎田駅前周辺活性化促進事業特別会計、霊園事業特別会計）

### ●平成23年度会計別決算の状況

会計名	歳入	歳出	差引（形式収支）	単年度収支	
一般会計	116億1,283万円	100億8,400万円	15億2,883万円	4,095万円	
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	3,281万円	3億4,304万円	▲3億1,023万円	3,060万円
	奨学金貸付事業	549万円	1万円	548万円	124万円
	椎田駅前周辺活性化促進事業	60万円	57万円	3万円	1万円
	霊園事業	242万円	242万円	0万円	▲22万円
	国民健康保険	25億9,486万円	26億4,551万円	▲5,065万円	▲5,809万円
	後期高齢者医療	2億6,797万円	2億6,325万円	472万円	52万円
	特定環境保全公共下水道事業	2億1,780万円	2億295万円	1,485万円	172万円
	農業集落排水事業	6億1,563万円	6億31万円	1,532万円	▲132万円
	公共下水道事業	4億7,578万円	4億3,505万円	4,073万円	1,282万円
	簡易水道事業	1億4,242万円	1億3,556万円	686万円	▲146万円
	特別会計計	43億5,578万円	46億2,867万円	▲2億7,289万円	▲1,418万円
合計	159億6,861万円	147億1,267万円	12億5,594万円	2,677万円	

※1万円未満は四捨五入で調整

## ●平成23年度末町債現在高（町の借金）

会計区分	21年度末現在額	22年度末現在額	23年度末現在額
一般会計	119億2,449万円	113億5,536万円	106億2,124万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	475万円	118万円	0万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	15億1,466万円	15億7,779万円	15億7,343万円
公共下水道事業特別会計		4,970万円	2億3,020万円
農業集落排水事業特別会計	18億2,689万円	18億3,182万円	18億8,392万円
簡易水道事業特別会計	8億9,031万円	8億5,272万円	8億1,409万円
合計	161億6,110万円	156億6,857万円	151億2,288万円

## ●町民一人、一世帯あたりの町債現在高（借金）

	22年度	23年度
一人あたりの町債残高	773,490円	755,276円
一世帯あたりの町債残高	1,750,288円	1,683,125円



## ●平成23年度末基金現在高（町の預金）

基金名	21年度末現在額	22年度末現在額	23年度末現在額
財政調整等積立基金	3億9,554万円	6億1,405万円	7億3,065万円
減債基金	5億387万円	8億6,304万円	8億6,318万円
その他目的基金	18億7,940万円	18億7,395万円	24億1,086万円
その他運用基金 (高額療養費支払資金貸付基金)	550万円	550万円	550万円
合計	27億8,431万円	33億5,654万円	40億1,019万円

※財政調整等積立基金とは…収入の減少や不測の支出増加に備え積立てた財源  
(一般家庭の預金と同じようなもの)

※減債基金とは…地方債(借入金)の償還に充てるために積立てた財源

## ●町民一人、一世帯あたりの基金現在高（預金）

	22年度	23年度
一人あたりの基金残高	165,649円	200,279円
一世帯あたりの基金残高	374,839円	446,321円

## ●その他主な財政数値（普通会計）

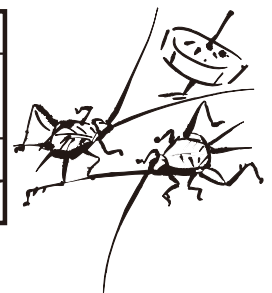
	22年度	23年度
経常収支比率	88.1%	90.6%
実質公債費比率	16.0%	14.4%
財政力指数	0.345	0.332

## ●健全化判断比率

(単位：%)

項目	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成23年度	— (△18.69)	— (△20.89)	14.4	87.3
早期健全化基準	14.38	19.38	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

※備考：実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は、「—（該当なし）」で表示し、参考に黒字の比率を（△）で示す。



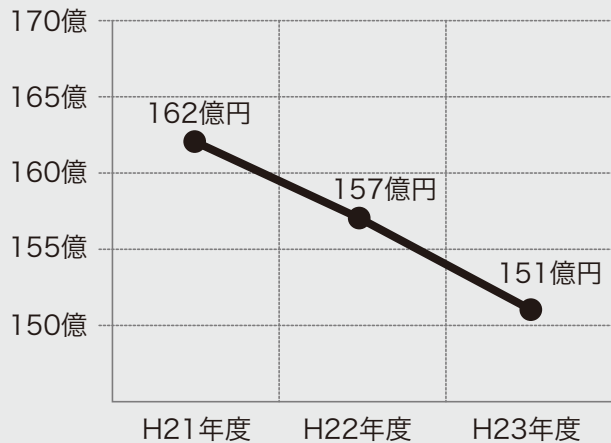
## ●資金不足比率

(単位：%)

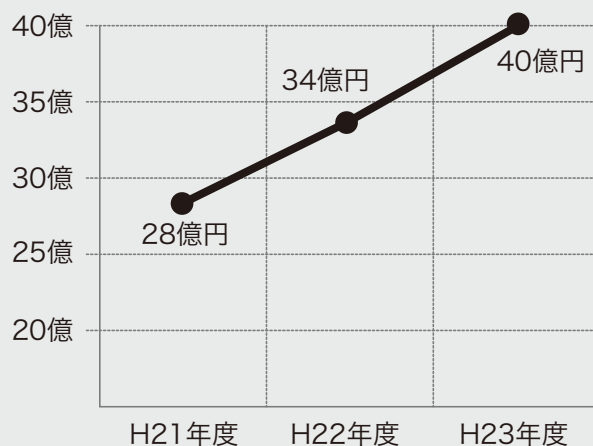
項目	特定環境保全公共 下水道事業特別会計	農業集落排水事業 特別会計	公共下水道事業 特別会計	簡易水道事業 特別会計	水道事業会計
平成23年度	(△39.1)	(△25.7)	(△0.0)	(△9.9)	(△56.0)
経営健全化基準	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

※備考：資金不足額がない会計は、「－（該当なし）」で表示し、参考に資金剰余の比率を（△）示す。

### 町の借金残高の推移



### 町の貯金残高の推移



## 財政用語について

### ●経常収支比率とは……

財政の弾力性（ゆとり）を見るための指標。用途を制限されない経常的な収入（地方税、普通交付税等の毎年収入される性質の収入）に対する経常的な支出（人件費、扶助費、公債費等の毎年経常的に支出されるもの）の割合が低いほど、財政にゆとりがあり、投資的な事業を行ったり、さまざまな状況の変化に柔軟に対応できることを示します。100%を超えるということは、収入以上の支出が行われていることになり、改善が必要とされる状態です。

### ●実質公債費比率とは……

地方債協議制度への移行に伴い新たに導入された指標で、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や上下水道事業など企業会計などの公債費支払いに対する繰出金などを含めた実質的な負担の割合をいいます。この比率が18%を超えると地方債発行に際して県の許可が必要となります。25%以上になると地方債発行が制限されます。

### ●財政力指数とは……

地方公共団体の財政に力があるかどうかを示す指標。財政力指数が高いほど自主財源（地方公共団体が自ら調達できる財源）の割合が高く、財政力が強いこととなります。これが1を超えると、普通交付税が交付されません。

### ●標準財政規模とは……

地方公共団体の一般財源の標準規模を示した額であり、普通交付税算定における標準税収入額と譲与税等に普通交付税を加算した額。

一般会計等とは…一般会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、奨学金貸付事業特別会計、椎田駅前周辺活性化促進事業特別会計、霊園事業特別会計。

すべての会計とは…上記一般会計等と国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、特定環境保全公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計、簡易水道事業特別会計、水道事業会計。